

令和 7 年度

下水道事業会計当初予算の概要

1. 下水道事業会計当初予算の概要

(1) 予算規模

※ 四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率が合わない場合がある

(単位:百万円)

当 初 予 算		令和 7 年度 A		令和 6 年度 当初予算 B	前年度比 A - B	
		要求	査定 A			
予 算 規 模		23,314	22,852	23,237	▲385	▲1.7%
収 益 的 支 出 (3 条 予 算)		11,327	11,083	10,959	124	1.1%
資 本 的 支 出 (4 条 予 算)		11,987	11,769	12,278	▲510	▲4.1%

(2) 予算のポイント

【前年度比較】

- ・ 予算規模 は、▲3.9億円 (▲1.7%)
施設整備事業費や企業債償還金、減価償却費の減など
- ・ 下水道使用料 は、42.2億円 (+1.8%)
- ・ 一般会計繰入金 は、49.4億円 (+7.8%)

【重点事項】

- ・ 浸水対策事業の推進 (日新ポンプ場建設工事・宮川雨水幹線工事等) 11.7億円
- ・ ストックマネジメント、総合地震対策計画に基づく改築・更新事業の推進 31.9億円
- ・ 積極的な収入の確保 (MICS・バイオマス発電収入) 2.2億円

2. 業務計画

区 分		令和 7 年度	令和 6 年度	前年度比較	
				増減	率
水 洗 化 戸 数	戸	128,200	126,400 (127,400)	1,800 (800)	1.4% (0.6%)
水 洗 化 人 口	人	251,000	250,700 (250,500)	300 (500)	0.1% (0.2%)
年 間 総 処 理 水 量	m ³	37,529,960	37,992,900	▲462,940	▲1.2%
一 日 平 均 処 理 水 量	m ³	102,820	104,090	▲1,270	▲1.2%
年 間 総 有 収 水 量	m ³	26,585,460	26,145,710	439,750	1.7%
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	72,830	71,630	1,200	1.7%
下 水 道 処 理 人 口 普 及 率	%	64.7	64.6 (64.5)	0.1 (0.2)	—

※（ ）内の数値は、R 6年度見込み値及びその比較

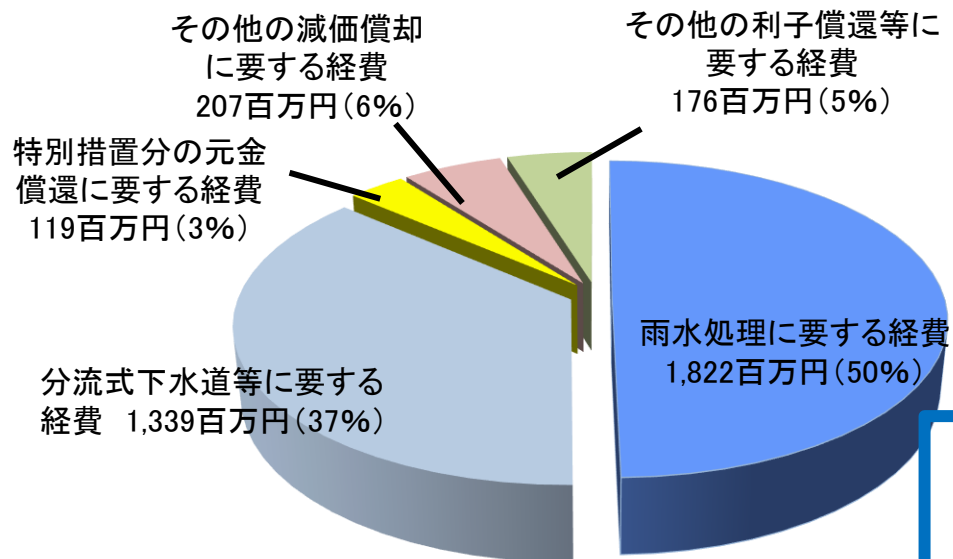
3. 重点事項（具体的な取組）

浸水対策の推進		11.7億円
日新ポンプ場建設工事	土木一式工事、建築一式工事	5.0億円
宮川雨水幹線工事	全体事業費 59.3億円(R5～R11) ボックスカルバート L=19.2m マンホール N=1基	1.5億円
西部バイパス幹線接続工事	推進工 L = 3.3m 開削工 L = 7.0m	1.1億円
勅使第1雨水幹線工事 など	No.2両発進立抗工、坑口防護工、下水・水路・道路仮設一式	1.0億円
ストックマネジメント計画及び総合地震対策計画に基づく改築・更新事業の計画的な実施		31.9億円
ストックマネジメント計画	管きょ改築工事等 5.1億円 管更生等 L = 2,349m 4.9億円 蓋交換 N = 62箇所 0.2億円 施設改築・更新工事等 21.0億円 処理場（4施設）ポンプ場（5施設） 香東川浄化センター沈砂池改築工事 全体事業費 13.8億円（R5～R7） スtockマネジメント計画策定業務委託 0.5億円	
総合地震対策	総合地震対策工事等 5.0億円 管更生 L = 1,948m マンホールの浮上防止 N = 10基 4.9億円 総合地震対策計画策定業務委託 0.1億円	
経営健全化の推進・積極的な収入の確保		
経営健全化の推進	包括的民間委託(処理場等) 12.0億円 全体事業費 66.3億円(R6～R10)	
積極的な収入確保	MICS収入、バイオマス発電収入	2.2億円

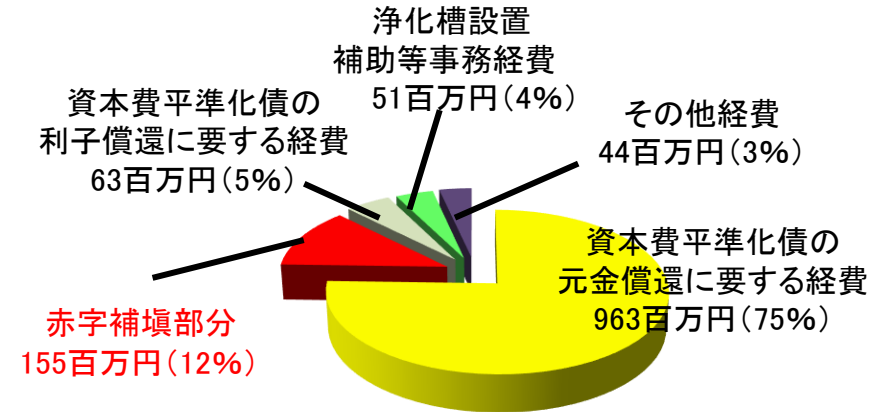
4. 一般会計から下水道事業会計への繰入金

(単位:百万円)

当初予算	令和7年度	令和6年度	増減	備考
下水道事業負担金 (3条予算)	3,486	3,416	70	減価償却・利子(雨水処理に要する経費、 分流式下水道等)など
下水道事業補助金 (3条予算)	155	159	▲4	水洗便所貸付金事務費 赤字補填
下水道事業出資金 (4条予算)	1,082	1,007	74	資本費平準化債(元金) 特別措置分(元金※交付税措置あり)
下水道事業負担金 (4条予算)	215	0	215	雨水処理に要する資本費
合計	4,938	4,582	356	
繰出基準内	3,662	3,375	287	総務省通知によるもの
繰出基準外 (うち赤字補填)	1,276 (155)	1,206 (158)	69 (▲4)	高松市の取決めによるもの

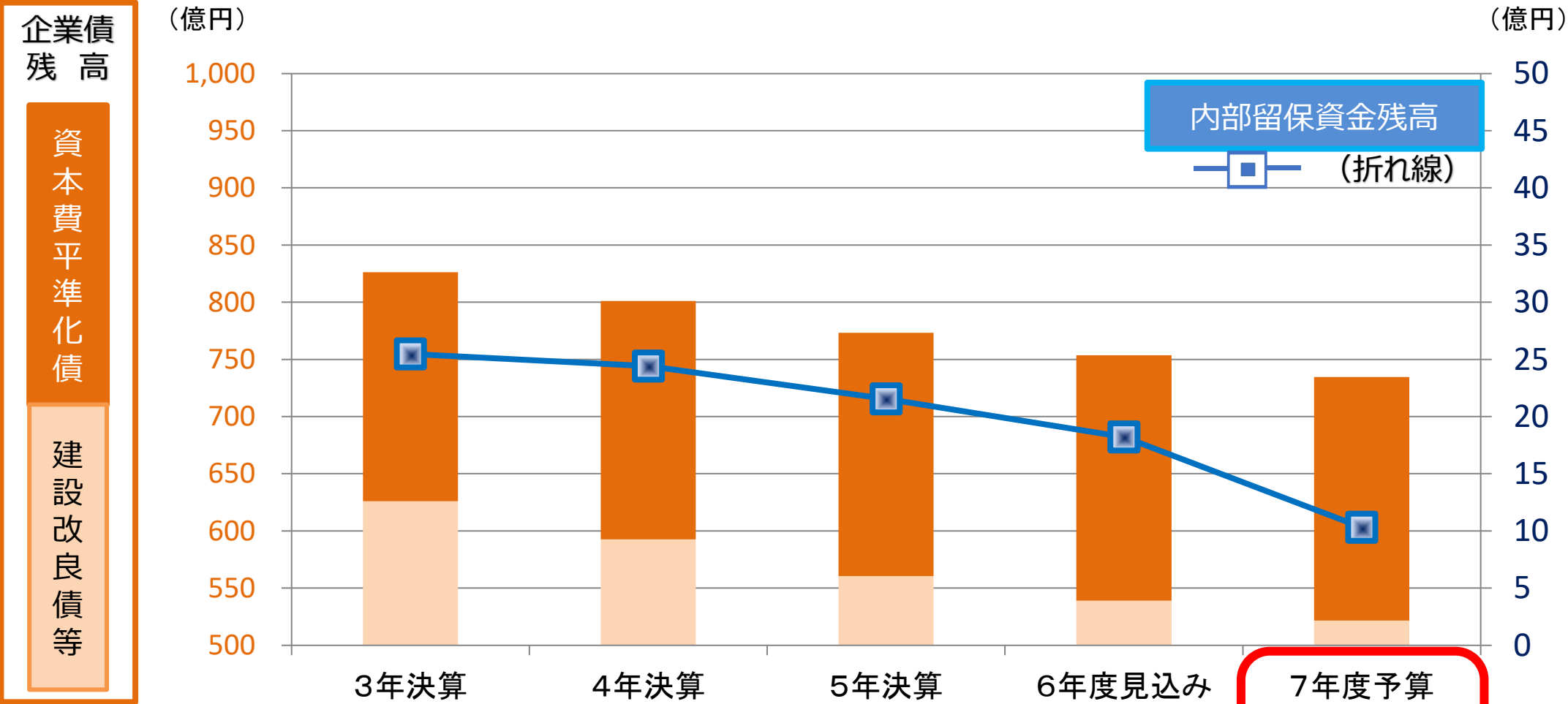


繰出基準内の内訳
3,662百万円【74%】



繰出基準外の内訳
1,276百万円【26%】

5. 企業債残高 及び 内部留保資金残高



企業債残高	826.2	801.1	773.2	753.6	734.5
建設改良債等	625.8	592.6	560.4	538.9	521.6
資本費平準化債	200.3	208.5	212.8	214.7	212.9
内部留保資金残高	25.5	24.4	21.5	18.2	10.3